申請日：　 　年　 　 月 　日

植物等提供依頼及び同意書

東京大学大学院理学系研究科附属植物園長　殿

別紙にある提供条件に従いますので、以下の植物等の提供をお願いいたします。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | 所属 |  | 連絡先 | 〒Tel：  |
| 職名/学年 |  | 氏名 |  |
| 提供希望詳細 | 1. □植物　　□その他
 |
| 1. 種名：

※種数が多い場合は別紙（様式自由）に記載し本紙とともに提出してください。 |
| 1. □原産国が海外　□「種の保存法」による規制対象種（該当する場合チェック）
 |
| 提供形態および数量（提供部位、大きさ、状態等について具体的に記入）： |
| 利用目的及び利用方法 | ※研究の目的、方法、学術的意義、当園からの提供でなければならない理由を具体的に記入。研究計画書、企画書等があれば添付してください。 |
| 植物園の担当者（決まっている場合に記入） |  |
| 申請責任者（申請者が学生等の場合指導教官が記入） | 所属 |  | 職名 |  |
| 氏名（自署または記名・押印） | 印　 |

--------------------------------------------------------------------------------------

（東京大学側使用欄）

上記の提供申込みについて、園内協議の結果、承認します。

　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　東京大学大学院理学系研究科附属植物園

　　　　　　　　　　　　　　　　　　園　長　　　　川　北　　　篤

別　紙

提供条件

1. 本件で取り扱う植物等（以下「本件植物等」という。）は、その全ての子孫を含み、提供依頼者の機関内において、「植物等提供依頼及び同意書」に記載の使用目的にのみ使用し、他の目的には使用しないこと。
2. 本件植物等の情報は試料との関係性を維持した状態で適切に保管すること。
3. 本件植物等を第三者に提供しないこと。※１
4. 本件植物等の展示の際には、その原産国（及び本園が提供元であること）を明記すること。
5. 本件植物等が「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」による規制対象である場合は、法律に基づく所定の手続きを提供依頼者自身が行うこと。
6. 本件植物等の利用に伴って生じた不利益については、本園は責任を負わない。

〔以下、研究・開発に用いる場合のみ該当〕

1. 原産国が海外の植物等を研究・開発に用いる場合は、遺伝資源※２の取得及び利用に該当する　ため、「生物の多様性に関する条約」及び「生物の多様性に関する条約の遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する名古屋議定書」に基づく所定の　手続きを提供依頼者自身が行うこと。
2. 本件植物等を用いた研究・開発結果を発表（学会発表、論文等）する際には、その原産国を　明記すること。また、本園の貢献について記載し、可能な場合成果物（論文等）の写しを送付すること。
3. 本件植物等（原産国が海外のものに限る）を用いた研究・開発結果を特許化または商業化する場合は、予め本園の許可を得た上で別途原産国と契約を結ぶこと。

※１事前に当園の承諾を得て研究機関、植物園等に提供する場合を除く。

※２遺伝資源とは、遺伝子を有するもの（植物、微生物など）で、部分的なもの（植物の器官、　細胞など）や、その抽出物（DNA、RNAなど）も含まれる。

--------------------------------------------------------------------------------------

（東京大学側使用欄）

|  |
| --- |
| その他利用条件： |